

前期2021 年度 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
作成日		令和3年8月30日		
法人名	園 名			
社会福祉法人照治福祉会	摂津峡認定こども園			
まとめ		全体平均 4.51		
第2章第2節 乳児期の園児の保育	基本的には「育児担当制保育」を理解し一人一人の気持ちに寄り添い優しく関わって保育がなされていると思います。より乳児保育の質を高めるために、「育児担当保育マニュアル」を基本とした育児についての共通理解と実践を行うと同時に、情緒や身体の発達を見据えた子ども理解を深めていきたいと思います。そして、どんな時でも落ち着いて子どもと向き合うことが必要で、大人の都合や段取りで保育がすすめられることのないよう子どもの気持ちや思いが満たされるような保育を心がけていきます。			
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	5領域を意識した保育を一体的にすすめ、毎週掲示しているドキュメンテーションにおいてそのような視点で作成しています。そして、子どもたちの心情、意欲、態度を意識した援助の仕方に重点を置き保育がなされていると思います。環境として保育者の優しいまなざしと言葉がけを意識した保育を行い季節の歌やわらべ歌などを一緒に楽しみ、ほっこりとした経験がたくさんできるように心がけていきたいと思います。			
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	室内でのあそびについて、コーナー保育の実践を通して子どもたちの「やりたい」「できた」「うれしい」が実現できる環境を用意し、子どもたち同士の関りの中で主体的に色々な経験ができるようになってきています。新年度が始まり生活の面においても、保育教諭のきめ細かい見守りや配慮によりようやく落ち着き始めている。また、相手の意見を受け止めながら話を聞くと言う雰囲気ができ、子ども哲学教室でなされている3つの約束が教育保育の現場でも行われている。お互いを大切に思う気持ちを育てていきたいと思います。			
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	一人ひとりに寄り添い子どもを理解しようとする姿はどの保育教諭にもみられると思います。朝夕の送迎の時間における保護者とのコミュニケーションを大切にしながら、子どもの様子を共有することを大切にしています。また、真摯に子どもと向き合い、理解し丁寧に応答することが子ども一人ひとりの自己肯定感を生み健やかな育ちに繋がることを考えています。それは職員間においても同じことがいえることで、職場の雰囲気が子どもの教育保育の現場において大きく影響することを念頭に取り組んでいきます。			
第3章 健康及び安全	それぞれに任された担当に責任をもって取り組んでいます。非常時に備えマニュアルの見直しや定期訓練を行っています。非常時の保護者への連絡などの連携がうまく図れるよう安全に対応できるようにしていきたいと思います。食育については、畑や植栽の充実が奏してたくさん野菜や果実の収穫がありました。また、管理栄養士による「食」についての取り組みが行われ子どもたちも楽しそうに参加していました。			
第4章 子育ての支援	地域の子育て親子が安心して園庭開放などに参加できるよう細心の配慮のものとびのびと遊べる環境を用意しています。また、担当する職員は、親御さんとのコミュニケーションを第一に心がけ、地域にある施設としての価値を見出し、コロナ禍でありながらもできるだけ開放できる方法を模索しながら子育て家庭への支援に取り組んでいきたいと思っています。			
第5章 職員の資質向上	事業計画にもあるように分業による自分の立場でやるべきことややらなければならないことを、職員一人一人が見極め遂行していくことが肝要かと思っています。そのために職位や組織図の中にある担当、行事の担当などを明確にすること、それが意識化され運用されていることを園長はしっかりと管理し状況を把握して行きます。研修については法人の取り組みと並行してキャリアパスを見据えた研修を主に取り組み、専門性の向上を目指していきます。			
総合	今年度上半期を振り返り、職員の育成と質の向上、保育の振り返りとその充実に努めました。子どもたちが安心して過ごせる空間やあそびが深まっていくための計画や職員間の連携等について会議を重ねてきました。幼児クラスにおいては、フリー職員のフォローを受けながらクラス運営の安定を図った結果、前期の振り返りと後期の保育計画への見通しが付きました。乳児クラスにおいては、子どもの成長に伴うあそびの環境や生活をする環境、子どもたちを取り巻く人的環境について適切な対応が求められ保育者の援助の仕方や保育の環境について細かい確認作業が課題となってきます。例えば日課の見直し、あそびの環境の見直し、子どもの成長に伴う保育者の見守り方などがあげられます。これからも笑顔で子どもたちと楽しく向かいたいと思います。			
データ表				
内容	項目数	平均		
「乳児保育」	15	5.00		
「3歳未満児保育」	32	4.72		
「3歳以上児保育」	53	4.57		
「教育保育の配慮事項」	16	4.00		
「健康・安全」	29	4.38		
「子育ての支援」	18	4.44		
「職員の資質向上」	9	4.00		
計	172	4.51		
データグラフ				
	0.00	2.00	4.00	6.00
「乳児保育」	5.00			
「3歳未満児保育」	4.72			
「3歳以上児保育」	4.57			
「教育保育の配慮事項」	4.00			
「健康・安全」	4.38			
「子育ての支援」	4.44			
「職員の資質向上」	4.00			